

耐震状況の凡例について

○市有建築物の耐震状況(総括表)について


A 棟数	建築物の総棟数 ただし、学校については、渡り廊下などは除く
B 耐震性確認済	新耐震基準の建築物、旧耐震基準であるが耐震性が確認された建築物 および耐震改修済の建築物の棟数 【表(C+F+G)の数値】
C 新耐震基準	新耐震基準(昭和 57 年以降)の建築物の棟数
D 旧耐震基準	旧耐震基準(昭和 56 年以前)の建築物の棟数
E 耐震診断の実施	旧耐震基準の建築物のうち、耐震診断を実施した建築物の棟数
F 耐震性有	耐震診断を実施した建築物のうち、耐震性が確認された建築物の棟数
G 改修済	旧耐震基準の建築物で、耐震診断の結果、耐震改修を必要とするもので、 改修工事が完了した建築物の棟数
H 未改修	旧耐震基準の建築物で、耐震診断の結果、耐震改修を必要とするもので、 改修工事が未済の建築物の棟数
I 未診断	旧耐震基準の建築物のうち、耐震診断を実施していない建築物の棟数
J 耐震化率	新耐震基準の建築物、耐震性が確認された建築物、耐震改修済の建築物 の総棟数を建築物の総棟数で除した数値

※ は耐震性を確認した建築物の総数

耐震状況の凡例について

○市有建築物の耐震状況(個別表)について

施設名称	各施設ごとの名称
棟名称	各施設の棟ごとの名称
所管部局	建築物を所管する部局名
所管課	建築物を所管する課名
構造	RC:鉄筋コンクリート造 S:鉄骨造 PC:プレキャストコンクリート造 W:木造
建設年	建築物が建設された年 ※複数年にわたって建築したものについては、古い建設年で明記
耐震基準	旧:昭和56年以前に建築した建築物 新:昭和57年以降に建築した建築物
耐震診断の実施	○:耐震診断を実施した建築物 ×:耐震診断を実施していない建築物
耐震指標(Is値)	①Is値 0.6(0.7)以上: 地震の震動及び衝撃に対して倒壊や崩壊する危険性が低い。 ②Is値 0.3以上 0.6(0.7)未満: 地震の震動及び衝撃に対して倒壊や崩壊する危険性がある。 ③Is値 0.3未満: 地震の震動及び衝撃に対して倒壊や崩壊する危険性が高い。 ()は学校のIs値 ※詳細については、判定の基準を参照 ※耐震指標(Is値)は、耐震診断結果の最小であるIs値を表記
耐震診断の結果	○:耐震診断を実施したうち、Is値が0.6(0.7)以上の建築物 ×:耐震診断を実施したうち、Is値が0.6(0.7)未満の建築物 ()は学校のIs値
改修状況	改修済:旧耐震基準の建築物で耐震診断の結果、耐震改修を必要とするもので、改修工事が完了した建築物 未改修:旧耐震基準の建築物で耐震診断の結果、耐震改修を必要とするもので、改修工事が未済の建築物
備考	改修や建替計画など、その他の参考となる事項

※  は耐震性を確認した建築物